



長島町の伝統行事、御八日踊りが8月8日、町内の神社や集落で練り広げられ、各地区に伝承されている鉦踊りや棒踊り、種子島楽など多彩な踊りが奉納されました。

汐見の若宮神社では、踊り子たちが汗だくになりながら勇壮な鉦踊りを披露。観覧に訪れた地区民から、たくさんの拍手が送られていました。

御八日踊りは、1565年3月、野田領主島津忠兼が、城川内の堂崎城主天草越前正

を攻め滅ぼし、島津領としました。甥の出水領主島津義虎に同年旧7月8日、出水城で謀殺されました。その後、長島全土に悪疫が流行したので、島民はこれを忠兼のたたりとして、その霊を慰めるために、若宮神社に忠兼の御霊を祀り、毎年旧暦7月8日に大祭をして、踊りを奉納するようになりました。

御八日踊り

写真の踊り子

- ① 汐見エブロン会
- ② 浦底青年団
- ③ 川床四公連
- ④ 塩追の中学生から一般
- ⑤ 汐見小学校
- ⑥ 鷹巣鉦踊り保存会
- ⑦ 蔵之元郷土芸能伝承部会
- ⑧ 山門野の小・中学生